

岐阜県の養豚農家で 豚コレラ(国内33例目)の疑似患畜 が確認されました

<発生施設の概要>

所在地:岐阜県恵那市 飼育頭数:1,015頭

<経緯>

岐阜県は、7月26日(金)、農場から「飼育豚が異常を呈している」との報告を受け、立入検査及び精密検査を実施したところ、昨日(7月27日(土))に豚コレラの疑似患畜であることを確認しました。

生産者、畜産関係者の皆様には、
以下の対策の徹底を改めてお願いします。

- 1) 消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止
対策
- 2) 飼養衛生管理区域専用の服及び長靴の着用
- 3) 野生動物との接触防止等、飼養衛生管理基準の遵守
- 4) 飼養豚の毎日の健康観察による早期発見・早期通報

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話:055-262-3166 FAX:055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先:090-5535-8005

土日・休日の連絡先:090-5544-7868

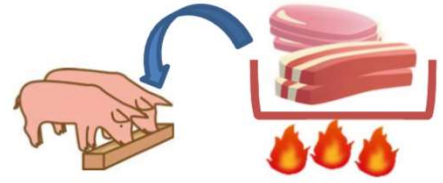
衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

豚コレラ

2018年9月から続発!!

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



写真出典:岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

【豚コレラの特定疾状】

- 耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。
- 同一の畜舎内において、次のいずれかの症状を示す豚等が増加する。

- ・摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ・便秘、下痢
- ・結膜炎(目やに)
- ・歩行困難、後躯麻痺、けいれん
- ・削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
- ・流死産等の異常産の発生
- ・血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑
天然孔からの出血、血便

症状が明確になるまで時間がかかります。

飼養豚の毎日の丁寧な健康観察による異常の
早期発見・早期通報をお願いします!